



おめでとうございます



いばらき児童生徒地図作品展で久米小の児童が最優秀賞と優秀賞を受賞

第22回いばらき児童生徒地図作品展において、久米小の5・6年生で構成される2グループが最優秀賞と優秀賞を受賞しました。

【最優秀賞】

作品名「野生動物からの被害 大調査」

金砂郷地区の野生動物による農作物等の被害状況やそれに対する対策などを、児童たちが実際に地区内を歩いて取材・調査し、地図にまとめました。この作品は、第25回全国児童生徒地図優秀作品展に出品され、審査員特別賞を受賞しました。



最優秀賞を受賞した皆さん
(上段左から)

菊池 陽葵さん(6年)、窪谷 来春さん(6年)、
黒羽 柚妃さん(6年)、川村 文美さん(6年)、
茅根 彩純さん(6年)

(下段左から)

斉藤 菜菜さん(5年)、平塚 世奈さん(6年)、
降矢 ことみさん(5年)、城 菜々美さん(6年)



【優秀賞】

作品名「学校がなくなる！」

金砂郷地区の小学校の児童数の変化や地域の歴史などについて文献や取材などで調査し、地図にまとめました。



優秀賞を受賞した皆さん
(上段左から)

海老根 未来さん、葦澤 紗羽さん、塙 莉緒さん、
成井 快斗さん、栗原 壮彩さん

(下段左から)

鈴木 双葉さん、茅根 美里さん、後藤 鈴奈さん、
池田 緑希さん
*全員6年生



県スポーツ少年団スポーツ大会で優勝

12月12日に開催された令和3年度茨城県スポーツ少年団スポーツ大会バレーボール競技で、佐竹バレーボールスポーツ少年団の男子チームが優勝に輝きました。





おめでとうございます



左から大関消防長、マーティンさん、茅根さん、栗原さん、宮田市長、小林さん、関根さん、猿田さん

消防功労者を表彰

1月8日の令和4年消防出初め式において、令和3年5月10日に東連地町で発生した建物火災の初期消火と人命救助に貢献した6人に、消防本部から感謝状を贈呈しました。

【消火協力者】

小林 茂夫さん、茅根 貢次さん、栗原 昌則さん、関根 敬純さん、猿田 浩さん

【人命救助協力者】

マーティン久美子さん

「住みたい田舎」北関東エリア 3部門で第1位

「田舎暮らしの本」(宝島社)の「2022年版住みたい田舎ベストランキング」において、北関東エリア(茨城県・栃木県・群馬県)の3部門で本市が第1位を獲得しました。新婚家庭家賃助成や住宅取得促進助成など、結婚から出産・育児まで若者や子育て世代をサポートする切れ目ない支援や、高齢者の健康や交通手段をサポートする施策などを実施していることが評価されました。

北関東エリア

若者世代・単身者が住みたいまち… **第1位**

子育て世代が住みたいまち…………… **第1位**

シニア世代が住みたいまち…………… **第1位**



各市町村が回答した全 276 項目のアンケートの結果が点数化され、ランキングとして発表されています。全国では 751 市町村、北関東エリアでは 52 市町村から回答がありました。





教育振興大会

12月25日、パルティホールで教育振興大会を行いました。式典では、スポーツや芸術文化等の各部門で活躍した児童生徒、教育に関する調査研究等で功績のあった教職員の表彰や、教育振興に貢献した方々への感謝状の贈呈を行いました。また、「ふるさと常陸太田のよさを再発見しよう」というテーマで市内の全中学校の代表生徒による「ふるさと再発見事業」の学習成果の発表や太田西山高等学校自然科学部「常陸太田PRチーム」の皆さんによる発表もありました。



中学生による学習成果の発表



表彰式の様子



新年賀詞交歓会並びに叙勲祝賀会

1月5日、新年賀詞交歓会並びに叙勲祝賀会を生涯学習センターで開催しました。昨年叙勲を受章された方に対し記念品を贈呈し、受章者代表として西野孝二さんからあいさつをいただきました。また、市内で活躍するALT（外国語指導助手）と地域おこし協力隊の皆さんから新年の抱負の発表があり、和やかに新年をお祝いしました。



主催者や来賓の方による鏡開き



ALT の皆さん



受章者代表 西野孝二さん



地域おこし協力隊の皆さん



市長から記念品を贈呈



消防出初め式

1月8日、パルティホールで消防出初め式を開催しました。市消防団の組織等に関する規則に基づいた功労団員や部隊の表彰と、火災の際に初期消火に協力した方の表彰、昨年度や県から表彰された方の伝達披露を実施。新年のスタートにあたり、これからの消防防災活動へ意欲を高めました。



太田西山高校の生徒が生け花にチャレンジ

1月12日、太田西山高校商業コースの2年生が「新春を彩る」をテーマに市役所で生け花を行いました。これは授業の一環として実施したもので、講師の指導のもと6班に分かれて制作。木や花の配置、配色など意見を出し合いながら作品を仕上げていきました。参加した生徒は「見た人がきれいだと驚いてくれるような作品ができた」と話してくれました。また、作品を見た来庁者からは、「きれいな生け花に心がいやされた」などの感想が聞かれました。



広告

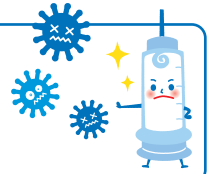
新型コロナワクチン接種関連情報

1月26日現在の情報を掲載しています。
最新の情報は、市ホームページや
厚生労働省ホームページでご確認ください。

市ホームページ



厚生労働省
ホームページ



令和3年8月以降に2回目の接種をした方へ

追加(3回目)接種の接種券等を発送します

今回の発送対象は以下のとおりとなりますので、必ず開封し、中身を確認してください。

◆対象者：令和3年8月以降に2回目の接種をした18歳以上の方

◆発送時期および予約方法等

区分	発送時期(予定)	予約方法等
60歳以上の方	2月中旬	同封する調査票(はがき)に希望する内容を記入の上、返送してください。 市が接種日と会場を調整し、後日はがきでお知らせします。 *市外での接種を希望する方は、自身で予約をお取りください。
18～59歳の方	3月上旬	WEB・LINE・電話から自身で予約をお取りください。

◆使用するワクチン(予定)

●3月：ファイザー社のワクチン

●4月：武田/モデルナ社のワクチン

*5月以降は、今後のワクチン供給状況により決定し、改めてお知らせします。

3月以降の接種間隔の前倒し

65歳以上の方：2回目の接種完了から6カ月後(可能な限り)

18～64歳の方：2回目の接種完了から7カ月後(可能な限り)



接種券発行申請

他市町村で2回接種後に本市に転入した等の理由で接種記録が確認できず、接種券が発行されない場合があります。
対象となるにも関わらず、接種券が届かない方は申請してください。

◆申請方法：申請先に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、添付書類を添えて郵送または窓口で申請してください。

*申請書は市ホームページからもダウンロードできます。

◆添付書類：接種したことを証明する書類(接種済証、接種証明書、接種記録書)の写し、身分証明書(運転免許証、健康保険証など)の写し

◆申請先：ワクチン接種推進室

*転入の手続きの際等に既に申請した方は、申請の必要はありません。

接種券が発行されていない方のうち、市外での前倒し接種のために発送時期以前に接種券が必要となる方はお問い合わせください。

[illegible][illegible]

事前の記入に
ご協力ください。



◆開設時期：2月～7月（予定） ◆接種場所：茨城県庁福利厚生棟
◆対象者：2回目接種の完了から6カ月を経過した18歳以上の方
◆使用するワクチン：武田 / モデルナ社のワクチン



■全体の接種者数、接種率



1回目接種者数
42,818人

91.2%

対象人口(R3.1.1)12歳以上
46,945人

*ワクチン接種記録
システム（VRS）より。

年齢	割合
12~19	83.2%
20~39	83.2%
40~59	88.3%
60~64	90.9%
65~	95.7%

市相談・予約コールセンター

☎0120-226-380

(月～土曜日〈祝日を除く〉
午前9時～午後5時)

耳の不自由な方専用 FAX 番号 0294-72-0123



スギからできる新素材!?

常陸太田から 未来へつながる テクノロジー

世界から注目を集めている画期的な新素材「改質リグニン」。スギの木から作ることができ、熱に強く加工しやすい上に生分解性を有する環境にも優しい素材であり、さまざまな分野・製品での活用が期待されています。そんな改質リグニンを生産する世界で唯一の実証プラントが、私たちの住む常陸太田市にあるのです。本市から世界へ、そして未来へ羽ばたく無限の可能性を秘めた新たなテクノロジーについて取材しました。

山田竜彦氏プロフィール

- 愛媛県出身
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所 新素材研究拠点 拠点長
- 筑波大学 生命環境系 教授(連携大学院)
- リグニンネットワーク代表



「リグニン」とは…

リグニンという言葉を初めて聞く人も多いかと思いますが、実は陸上のすべての木材に含まれている成分です。だいたい樹木の20〜35%ほどを占め、木材を固くしつかりさせる役割を担っています。かねてよりその性質の有用性に着目はされていましたが、リグニンは工業材料として活用できていませんでした。そんな中、スギに含まれるリグニンを安定して取り出すことに成功し、高性能な素材「改質リグニン」を開発したのがつくば市にある森林総合研究所(以下森林総研)の山田竜彦博士です。

まずはじめに、リグニンの特徴や改質リグニン開発までの道のりを山田博士に伺いました。

「リグニンという成分の歴史はとても古く、約4億5千万年前に植物が海から地上へ進出する際に生まれた素材です。同じ木材を構成する主成分のセルロースはたくさん使われているのに、リグニンは構造も多様で活用できていませんでした。同じ木でも、幹や枝が変わってしまったり……それを均一な品質で工業材

料化するのには困難なこと。そんな中、スギの木のリグニンが均一で安定していることが分かりました」

そんなリグニンをスギから効率的に取り出すためにポリエチレングリコール(以下PEG)という薬剤を使った新手法が用いられています。PEGは化粧品成分や食品添加物としても使用されている安全な素材。更に、PEGの量を調整することで改質リグニンは硬さを自在にコントロールできるようになり、より扱いやすく高性能で安心な「理想の素材」になりました。

日本固有のスギから 生まれる最先端素材

日本各地で見ることができスギですが、実は日本にしか自生していない固有種。日本の国土の約7割は森林で、そのうち約2割がスギの人工林といえます。ちなみに、本市の森林面積は県内第2位。市内面積の約67%を森林が占めています。

持続可能かつ豊富なスギ材に恵まれる日本は宝の山だと山田博士。改質リグニンによって、日本が世界



森林総研内の実験室にある改質リグニン製造プラントの初期小型版。なんとパンこね機を流用して作ったのだとか!



実際に精製された改質リグニン。さまざまな素材と組み合わせることで、プラスチック代替のみならず多彩な活用が可能。

をリードする資源国になりうる可能性を秘めているのです。
実はこれまでも改質リグニンを使用した製品の開発が進められており、自動車のボンネットや内側のプラスチック部品、電子基板などさまざまな用途で活用されています。改質リグニンは他の材料と結合させることでより強度に優れ、熱に強く加工も容易になる特徴があります。従来のプラスチックの代替となりうる環境に優しい素材というだけでなく、更に高性能であることが改質リグニンの大きな魅力と山田博士は話します。

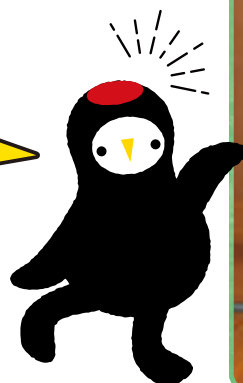
常陸太田の未来を拓く 実証プラント

森林総研内にある小型試験装置で開発された改質リグニンの生成技術を実証し、実際に量産化・商業化を目指す製造実証プラント(資源生産設備)が昨年7月、宮の郷工業団地に完成しました。プラントは、森林総研のほか改質リグニンの生産を担う株式会社リグノマテリアなど7機関が共同事業体として建設。今回はそんな実証プラントを見学させてもらいました。

プラントの周囲にはスギ材がずらり。というのも、お隣には日立造船株式会社が操業する「宮の郷木質バイオマス発電所」が置かれているのです。
世界初の改質リグニン製造拠点として常陸太田の地が選ばれた理由を、山田博士に伺いました。
「やはりまずは、林業が盛んな土地で木材が豊富な場所であること。改質リグニンの製造システムは有害物ゼロで安全性も高いので、中山間地域の新たな産業になりえます。山から資源を採取してその地域で加工し、そこから出荷・輸出が可能になる。それに、原料になるスギは立派なものでなくてよく、不要になった端材を利用できます。このプラントでも、隣接するバイオマス発電所で使われる木質チップを作る時に出る木の粉を使えるんですよ。改質リグニンの材料になるスギは小さければ小さいほど良いんです。更に、発電所の廃熱利用といった利点もある。その他にもいろいろな条件がありました。他にもあった候補地を置いてここに決まった理由は運命…、人との出会いだと僕は思います。私は改質

リグニンの研究・開発において、人との出会いとつながりに支えられてきました。改質リグニンの取り組みに賛同し、未来を見出しているという人が集まったのがこの場所だったんです」。リグノマテリアもそのひとつで、改質リグニンの可能性に期待した人々が立ち上げた新しいベンチャー企業です。

改質リグニン初の製品化商品・デスクトップサイズ全方位スピーカー「Egretta」。音質を左右するコーン(振動板)に使用されています!

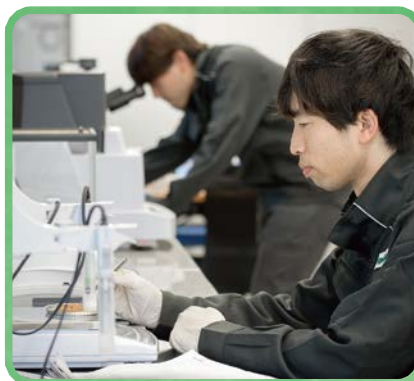


また山田博士は経済的なメリットに加え「日本中にまんべんなく人が住んでほしい。地域の若い人たちの就職先の選択肢のひとつになれば」と雇用創出の可能性にも触れました。改質リグニンが市場に普及すれば、本市をはじめ、全国の中山間地域を活性化させる産業として大黒柱になることが期待されます。

このプラントでは年間100トンの生産能力があり、今後更に効率化を進め増産を目指し商用ベースの生産研究所も建設予定だそう。製品の出荷もスタートしており、これからの展開に注目です。

常陸太田の印象と 博士からメッセージ

世界をリードしていく新素材のスタート地点となった私たちのまち。常陸太田市の自然の恵みが、最先端の技術を育んでいくのです。本市から、多くの研究者が羽ばたいていく可能性もあるでしょう。その先駆者である山田博士はとても気さくで、またユーモアに溢れた素敵な方でした。



宮の郷工業団地内にある実証プラントでの様子。リグノマテリアが操業しています。

本市の印象を伺うと「自然豊かで、とても住みよさそうな場所だと思っています。それに、蕎麦が美味しい！私は蕎麦が大好きで、プラントに来るといつもお昼に蕎麦を食べるのが楽しみなんです。研究室のメンバーにも、それがメインでしようと言われています」と朗らかに笑う博士。

気さくにお話してくれた山田博士。笑顔の絶えない取材となりました。



改質リグニンについて分かりやすく紹介するオリジナルマンガ「改質リグニンジャー」は山田博士が代表を務めるリグニンネットワークのホームページで読めます。

YouTubeでは動画も公開中。山田博士も登場しています！

HP <https://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/matechem/>

YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=7mld7PXUrFg>



HP



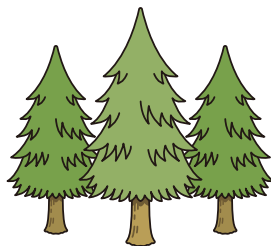
YouTube

リグニンジャー
活躍しすぎ～!!





ここで改質リグニンが製造されています。プラント自体はもちろん、扱う素材も安全です。



左が原料になるスギ。改質リグニンは製材時に出るおがくずなどからも作れます。



また、最後にこのようなお話も聞かせてくれました。
「子どもの頃から、百科事典を眺めるのが好きでした。昆虫とか、宇宙とか。その頃から研究者になりたいと志していましたね。でもずっと勉強ばかりやっていたわけじゃなくて、学生時代には趣味でギターを演奏したりしていたんで

すよ。その頃からイベントとかも好きで、とにかく皆を楽しませたいという気持ちがあっている企画していました。改質リグニンを親しみやすく、また分かりやすく広めるために改質リグニンジャーというオリジナルマンガも作りました。色んな視点から、いろいろなものを見ることが好きなんです。

リグニンジャーもそのひとつ。常陸太田で暮らす学生や子どもたちにも、ぜひ色んなことをやってみて方がいいですよって伝えたいですね」
常陸太田を舞台に枝葉を伸ばす可能性の太木・改質リグニン。ぜひ、大いに期待を寄せながら注目してください。

取材協力

国立研究開発法人
森林研究・整備機構
森林総合研究所



つくば市松の里1
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/ffpri.html>

株式会社
リグノマテリア
宮の郷工場・研究所



宮の郷町473-41
<https://lignomateria.co.jp/>